

「福祉まるごと相談室（健康と福祉の身近な相談窓口）」 のモデル事業を令和４年度にスタートします！

社会福祉法の改正により、「重層的支援体制整備事業」が令和３年４月に施行されました。

この事業は、市町村において既存の相談支援や地域づくり支援の取組を生かし、高齢・障がい・子ども・生活困窮といった分野別の支援体制では対応できないような、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」、「多様な参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するものです。

松阪市では重層的支援体制の整備に向け、現在移行準備事業に取り組んでいます。その取組のひとつとして、概ね中学校圏域に「福祉まるごと相談室（健康と福祉の身近な相談窓口）」を設置していきます。

困ったな…
どこに相談しよう…



「福祉まるごと相談室」に相談してみよう！

「福祉まるごと相談室（健康と福祉の身近な相談窓口）」では、医療職（看護師や保健師）、福祉職（社会福祉士等）と地域づくり支援職員が、地域で生活していくうえでの困りごとの相談を受け付け、各支援機関と連携をしながら、本人（世帯）や地域の方々とともに問題の解決に向けて一緒に考えていきます。



地域を支える
4つの役割

- 1 地域に寄り添う福祉まるごと相談
- 2 地域で広げる健康づくり
- 3 地域で支え合うネットワークづくり
- 4 高齢者のフレイル予防による連携と支援

◆ 令和４年度 モデル３地区設置 ◆

令和４年度はモデル地区として鎌田中学校区・嬉野中学校区・飯高中学校区の３圏域に「福祉まるごと相談室（健康と福祉の身近な相談窓口）」を設置します。

モデル地区	窓口設置場所
鎌田	鎌田地域交流センター内（鎌田町）
嬉野	嬉野地域振興局内（嬉野町）
飯高	飯高地域振興局内（飯高町宮前）